

協議事項

○「全国コミュニティスクール研究大会 in びんご府中」について

- ・コミュニティスクールに関して、府中市の小中学校はこれまで先進的な取組を行ってきた。8月2日には全国コミュニティスクール研究大会が府中市で行われるなど、全国的にも注目されている。コミュニティスクールが繋ぐ新たな学びをテーマに、シンポジウムや府中市内の小中学校の実践発表等が行われる。
- ・府中高校放送部が全体会の司会を務めることになっており、コミュニティスクールについて府中高校の生徒が理解を深める良い機会である。研究大会に関わった府中高校の生徒に対して質問調査を実施し、生徒の変容を把握する。

○府中高校に期待することについて

- ・府中高生は、地域の小学生や中学生から、「あんな高校生になりたい」という憧れを抱かれる存在であり続けることが必要である。
- ・勉強だけでなく、多くの人と関わり、様々な経験を積むことで、豊かな高校生活を送ることが大切である。豊かな高校生活を送った生徒は、同窓会の活動に積極的に関わるなど、卒業後も府中高校とのつながりを持ち続ける傾向になる。府中高生の府中高校に対する愛校心は、府中市に対する愛着であるとも言える。そのため府中高校で豊かな高校生活を送ることは、府中市への貢献につながるのではないか。

○企業見学等について

- ・今年度、一年生全員が企業見学を行うことは、進路決定に役立つばかりでなく、良い社会経験にもなる。新入社員の早期離職率が高いという実情からも、高校時代に勉強はもちろん、様々な経験を積むことが必要となってきた。
- ・企業見学や地域活動への参加などの地域貢献をとおして、生徒は学校で学んだことを実際に活用する機会を得ることができる。また、その経験によってさらなる学習の必要性を認識し、学力の向上に繋げることができる。
- ・教師が企業見学にもっと積極的に関わってほしい。教師が地元や企業ともっと関わりを持ち、社会のことを十分に知ったうえで、生徒の指導に当たることが必要ではないか。
- ・学校が様々な所と連携し、地域の人や企業の人にも生徒を教育してもらおうという視点が必要である。
- ・企業が生徒を受け入れることには、人材育成などの点から企業にもメリットがある。
- ・高校生に社会について知ってもらい、望ましい職業観や高い進路目標を持たせるためにも、学校行事などの公式な場面だけでなく、高校生と社会人が遠慮なく気軽に話し合うことができる機会を作ること効果的ではないか。

○コミュニティスクールの取組について

- ・「府中学」における「府中市への提言」は、年々質が向上している。府中のことをさらに知り、府中の良さに気づくことができるよう、学習を机上のみにとどまらせるのではなく、校外に踏み出し、実際に体験する場面を設けることが必要である。
- ・府中高校理研部が府中学園の学校行事に参加したり、部活動生徒が地域の清掃を行ったりするなど、学校と地域が繋がった様々な取組を行ってきた。
- ・これらのこれまで行ってきた様々な取組を、コミュニティスクールの視点で捉え直し、さらに発展・充実させることが望ましい。

